



MESSAGE FROM THE PRINCIPAL'S OFFICE

# 校長室だより 12月号

河内長野市立高向小学校 令和5年11月30日

朝の冷え込みに冬の訪れを感じます。「今日、手袋忘れてめっちゃ手冷たいねん」と、寒さで赤くなった指先を見せてくれる子もいます。登校中にポケットや袖口に手を入れて歩くと危ないですし、子どもたちは、手袋などの防寒具を自分に合わせて上手に使ってくれています。

さて、本日はご多用の中、学習参観、学年懇談会にご参加をいただき、ありがとうございました。5・6年生の保護者・地域のみなさまには「子ども文化財解説」にもご支援ご協力をいただきました。ありがとうございました。

12月は学期のまとめであり、今年一年の締めくくりです。学校でも、子どもたち自身で成長をふりかえる機会が多くあります。ご家庭でもお子さまと一緒に、出来事を前向きに捉えながら、生活や学習を話題にしていたけたらと思います。

## 体力づくりに取り組んでいます～コツコツやっていると、できるようになるものだ～

今年も、リズムなわとび、なわとび検定、二重とびリレー等、体力づくりの取組み期間がやってきました。寒くなってきたこの時期こそ、運動・スポーツする楽しさを味わって、人生100年時代を健康に過ごすスタートにしてほしいと思っています。

11月から始まったリズムなわとびでは、全校児童が運動場に広がって、同じ曲、同じ跳び方でなわを跳びます。「継続は力なり」と言われるように、学年が進むごとに上手になっていて、積み重ねることの値打ちを感じます。特になわとびは、体格の差や得手不得手に比較的影響されにくく、練習したらその分しっかり上達できるのがいいところです。



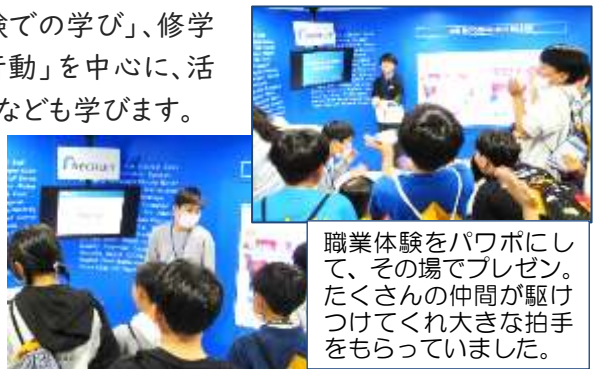
全校リズムなわとびは、子どもたちが日頃の練習の成果を発揮できる場になっています。できないことができるに変わると、笑顔で「やったー！」

また何と言っても一番の体力づくりは、運動場での外遊びです。進級進学の前に向けて、冬の間も運動・スポーツを楽しみつつ、心と体を鍛えたいものです。

## 修学旅行・臨海学校を終えて～社会に生きる人としての成長につなぐ～

高学年の宿泊行事が終わりました。臨海学校では「自然体験での学び」、修学旅行では「キャリア教育」「防災・地域活動」「自立的な集団行動」を中心に、活動での友だちとの協力、施設でのルールやマナーを守った行動なども学びます。

学習指導要領には、「遠足・集団宿泊的行事のねらいと内容」として、「自然の中での集団宿泊活動などの平素と違う生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。」とあります。



職業体験をパワポにして、その場でプレゼン。たくさんの仲間が駆けつけてくれ大きな拍手をもらっていました。

宿泊行事の中で、「平素と違う生活環境」に適應し、「集団生活の在り方」を理解して「公衆道徳」を尊重し自分の行動をコントロールする力は、今後、子どもたちが社会の中でよりよく生きていくためにも重要な力です。ルールとマナーを守ることはもちろん、それぞれの持ち物の管理から、初めて出会いお世話になる方々への対応、困っている仲間を助けることまでしっかりできてこそ、体験を学びとして楽しむことができます。子どもたちは、どの活動でも自分の良さを発揮して取り組み、たくさんの笑顔を見せてくれました。



レクリエーションでも、係を中心に自分たちで活動を楽しみました。

宿泊行事は行って終わりではありません。基本的なことですが、例年課題になるのは「当たり前のルールを大切にする」「誰の話でも集中して聞く」「仲間の思いに共感・尊重し、自分の思いもしっかり伝える」の三つです。高学年とはいえ、小学生ですから、一人ひとりに課題があって当然です。今回の体験を目標に照らして振り返り、日常の学習や仲間とのつながりに活かしてくれることを期待しています。